

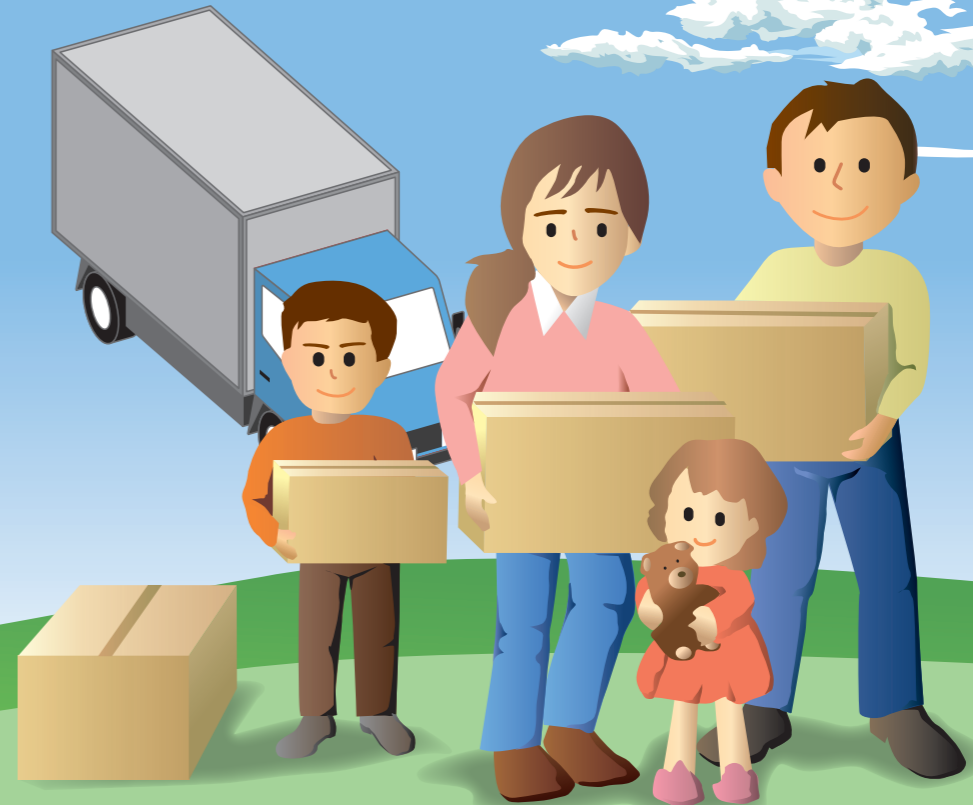
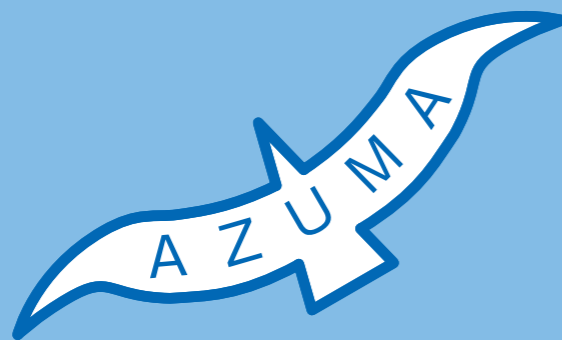
Azuma MoVing



安全 確実 迅速

お引越準備ガイド

引越をスムーズに進めるため、
引越準備作業についてご案内させていただきます。



ぜひ、国内引越（企業、個人）共々よろしくお願い申し上げます。

アヅマ引越センター

TEL : 03-6316-2260

FAX : 03-6221-2243

(東 海運株式会社) <http://www.azumaship.co.jp>



アヅマ引越センター



ご案内

当社は輸送革新時代に即応して多種・多様な輸送及び各種作業を「安全」、「確実」、「迅速」に遂行するため、長年の（2017年にお陰さまで会社創立 100 周年）経験を基盤として、日夜、お取引先様へのサービス向上をモットーとし提案型輸送を心掛けております。

海上運送事業、港湾運送事業、道路運送事業、倉庫業、通関業、通運業、航空貨物輸送体制に必要なあらゆる免許と設備を有し、さらに遠距離輸送方法としてカーフェリー輸送についてもいち早く全国輸送網を整備しております。

特に海外、国内の「引越」作業も長年の歴史を有し皆様にご案内申し上げます。

海外「引越」におきましては、中国、香港、台湾、東南アジアを含むアジア圏につきましては、それぞれの国の現地に「引越」担当日本人スタッフが皆様の「引越」に関わるご相談をお引き受けいたします。

また、エアーカーゴ等他社とも業務提携しており、その信頼と実績のネットワークによる連携プレーは海外においても高い評価をいただいております。

東 海運株式会社

目次

手順① お引越の心構え	4
手順② お引越のスケジュール	5
手順③ 諸手続きのチェック	6
手順④ 荷づくり	8
手順⑤ お引越当日	10
手順⑥ お引越完了	11



全国で高品質の引越サービスが受けられます。

東 海運は全国ネットの強みを活かした引越サービスをご提供しております。これらのネットワークを活かし、スピーディ、安全、確実に一貫輸送いたします。

また、不要品の整理や大切な品物の保管場所としてトランクルームのご利用も可能です。お気軽にご相談ください。

手順1 お引越の心構え

お引越しを決意した日からスタートが肝心。

第1項

お引越しはゆとりをもって

- 引越して混み合うのは土曜、日曜、祝祭日です。
- ゆとりをもってお引越しするのは平日がおすすめです。

第2項

作業範囲を確認しましょう。

- お客様自身で行う範囲、業者に任せる範囲をしっかりと確かめておきましょう。

第3項

貴重品は必ずご自分で管理

- 慌ただしくなりがちなお引越しだからこそ注意不足になりがちです。
- 特に貴重品は人任せにせずご自分で管理しましょう。

第4項

事前の準備でバタバタせず用意周到。

- 荷物は計画を立てながら準備をすすめていきましょう。
- 当日は運び出すだけであれば、スピーディにお引越すことができます。

第5項

お引越した後、慌てないために

- お引越した後、さしあたって生活に必要なものは一つのダンボールにまとめておきましょう。



手順2 お引越のスケジュール

お引越し準備は4週間前からスタートしましょう。
準備は早めに行なうことが大事です。時間はあるようで意外とないものです。

約4週間前

- 引越業者の手配
- お子様の学校に転校の手続き

約3週間前

- 転居挨拶の手配
- 電話局へ電話移設の依頼

約2週間前

- 荷づくり用品・用具の準備
- 役所に転出届けなどの諸手続き
- 荷づくり開始

約1週間前

- 銀行・郵便局の住所変更
- 電気・ガス・水道会社へ移転連絡
- 荷物のチェック

当日

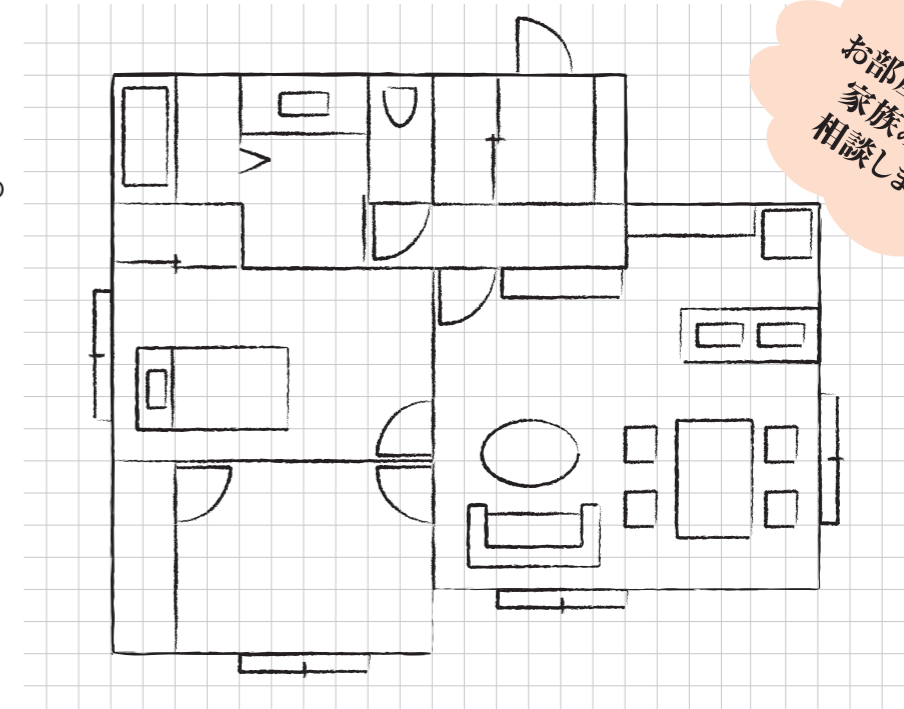
- 電気（ブレーカーを下げる）
- ガス（ガス会社立会のもと閉栓する）
- 水道（本栓を閉じる）

約1～2週間以内

- 役所に転入届けなどの諸手続き
- 電気、水道、ガス会社に届ける
- 運転免許証の新住所書き換え

家具の設置場所を図に描いてイメージしましょう!

- 家具などの配置を決める。方眼紙が書きやすい。
- 窓のサイズやカーテンレールの有無を確認。
- 玄関や廊下の高さや幅を測っておくと荷物搬入がスムーズ。



- 転居先が決まりましたら、下調べの際に間取りを確認して、家具の設置場所を図にすることをお勧めします。また、メジャーを持参し、家具の搬入経路・設置場所の寸法も測っておきましょう。

手順3 諸手続きのチェック

お引越しに伴う公共機関や電気・ガス・水道・電話などの諸手続き。さらには新聞販売店への連絡など、うっかり忘れてしまわないためにも、ひとつひとつ確認しながら行うことが重要です。

市役所（区役所）

手続きの種類	手続きの方法
転出届 転入届 住民異動	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 印鑑と身分証明をできるものを持参します。住民異動届を提出して、転出証明書を発行してもらいましょう。 ●引越後 転出証明書と印鑑を持参します。引越後14日以内に転入届を済ませる必要があります。※自動車、オートバイを持っている人は、この時に住民票を必要枚数もらっておきましょう。
印鑑登録	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 転出届を出すと自動的に消去されます。※代理人が手続きする場合は委任状が必要です。 ●引越後 新規印鑑登録と実印を持参します。当日は手続きのみで後日郵送された用紙を持参して初めて発行されます。
国民健康保険	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 保険証と印鑑を持参します。異動届を出して保険証を返却しましょう。 ●引越後 転入届と同時にいきます。
国民年金	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 お引越し先で手続きを行います。 ●引越後 年金手帳と印鑑を持参します。引越後14日以内に手続きを済ませる必要があります。
児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 印鑑を持参で、児童手当などの資格喪失届を行います。 ●引越後 印鑑を持参で、児童手当などの申請書を提出します。

学 校

公立小学校 公立中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 印鑑、転出証明書を持参します。異動票を発行してもらい、現在通学中の学校に提出しましょう。学校から在校証明書や各種書類をもらいます。 ●引越後 在校証明書や各種書類を教育委員会（市役所・区役所内）へ提出します。その時に転入校の指定があります。
公立高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 都道府県によって異なります。引越し先の都道府県教育委員会にお問い合わせください。
私立小学校 私立中学校 私立高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 編入を希望する学校へ直接お問い合わせください。



郵便局・銀行

郵便物転送願	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 転居届を現在の受持ち郵便局宛に提出すると、1年間は新居に転送してくれます。特に必要ありませんが、最寄りの局へ転入届をしておくことで配達がスムーズです。 ●引越後
郵便貯金	<ul style="list-style-type: none"> ●引越後 通帳と登録印を持参して、住所変更の手続きをします。
銀行預金	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 お引越し先に同行支店がない場合は解約となります。 ●引越後 お引越し先に同行支店がある場合、そこで住所変更の手続きをします。通帳、銀行登録印を持参しましょう。
公共料金自動引落	<ul style="list-style-type: none"> ●引越後 新しい口座で新たに手続きをします。口座番号と銀行登録印が必要です。

電気・ガス・水道

移転連絡	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 お引越しをする1週間前から3,4日前までに各会社へ電やホームページなどから申し込みます。契約者名、現住所、お引越し先の住所、引越日ご連絡します
------	--

通 信

固定電話 移設工事	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 「116」へ1ヶ月前から電話で申し込むことができます。取り外し日、お引越し先の住所、引越日などを伝えましょう。※連絡しておけば、電話はお引越し当日に旧居・新居どちらでも使用することができます。
インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 プロバイダーに移設手続きの連絡をします。

自動車と（バイク）二輪車

それぞれに必要な書類の関係や申請の場所などから手続きに効率の良い順番などもありますので注意しましょう。

運転免許証の住所変更	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 運転免許証は新しい住所の記載された住民票を持って所轄警察署に行けばその場で即時交付してもらえます。
車庫証明変更	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 車庫証明は車検証の住所変更が必要となりますので最低でも引越してから1週間以内に申請を済ましておくようにしましょう。
車検証の内容変更	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 地域を管轄する陸運事務所に新しい車庫証明と身分証明証を持参します。
二輪車（バイク）の住所変更	<ul style="list-style-type: none"> ●引越前 二輪車（バイク）の住所変更手続きは排気量によって申請する場所が異なります。

NHK

NHKに連絡し手続きを行ってください。

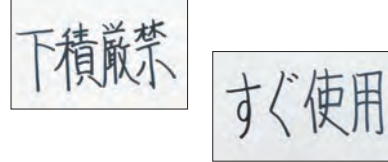
新聞・牛乳等の清算手続き

各販売業者、配達業者へ連絡。

手順4 荷づくり

前日までに完了するよう計画し、毎日少しずつ荷づくりします。
当日になっても終わらないと慌てないようにしましょう。

用意しておきたい便利な荷づくり用品



- ダンボール箱 ●荷づくり用テープ ●ラベル ●油性マジック ●軍手 ●緩衝剤
 - 大小ビニール袋 ●布団袋 ●掃除機
- ※ラベルは「取扱注意」「すぐ使用」「下積厳禁」などを使用。

荷づくりのコツ

1. 普段使わないものから最初に片づける
季節外れの衣類やお客様用の食器など、普段使わないものから荷づくりします。普段使うものを最後にすることで、せっかくな荷づくりした箱を何度も開けずに済みます。
2. 重いものは小さな箱、軽いものは大きな箱に
食器や本など重いものは小さな箱、衣類などの軽いものは大きな箱にまとめます。箱に詰めるときは重いものを下に、軽いものは上に入れると良いです。
3. 箱の重さは一人で持てる程度まで
重いものばかりを一つにまとめると、その荷物を簡単に移動することができなくなってしまいます。スムーズな移動が出来るように、箱の重さは一人で持てる程度にしましょう。
4. フレモノ注意
食器やびんなどの割れ物は隙間に新聞紙や緩衝剤を詰めて、箱の中で動かないように詰めます。箱には「取扱注意」「下積厳禁」など目立つように表示することも忘れずに。



荷づくりのアドバイス 1

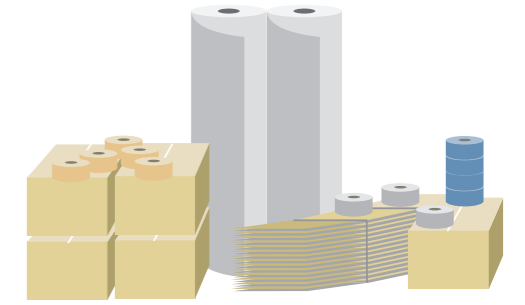
【食器・調理器具】



- びん類
ビニール袋に入れて、胴に新聞紙を巻いてから、そこに緩衝剤を入れた箱に入れます。びんを仕切るように箱にひもをかけ、交差する部分を結んでおくのがコツです。
※箱には「取扱注意」の表示をしましょう。
- 鍋類
鍋と鍋の間に新聞紙など柔らかい緩衝剤をはさみ、大きい順に重ねていきます。
- 包丁・食器類など
厚紙をはさんで布製テープを巻いておきます。台所用品などと一緒に箱に入れるときは、危険のないように注意して入れましょう。
食器と食器の間に食器類緩衝剤をはさんで積み重ねてから包みます。お皿は縦に入れると割れにくく、スプーン類は小さなビニール袋に入れるとそのまま使えて便利です。
※箱には「取扱注意」の表示をしましょう。



ダンボールはいつ届くのかしら？
何枚くらい必要なの？
資材は何が必要なの？



荷づくりのアドバイス 2

【家電・家具】

- 冷蔵庫
前日に霜取り、水抜きをし、受け皿の水を捨てておきます。新居ではすぐにコンセントを入れずに、30分以上はそのままにしておいてからコンセントに入れてください。
- 冷蔵庫の食品
緩衝剤などと一緒に箱に入れ、動かないように固定します。フタは閉めずに中が見えるようにしておきましょう。
※箱には「取扱注意」の表示をしましょう。
- 組立家具
ベッドなどの組み立て家具は、運びやすいように分解しておきます。ネジはビニール袋にまとめて入れ、裏側にテープで貼っておきます。
- 照明器具
緩衝剤などと一緒に箱に入れて動かないように固定します。フタは閉めずに中が見えるようにしておきましょう。
※箱には「取扱注意」の表示をしましょう。
- 洗濯機
お引越しの前日までに水抜きをします。この時、傾けるなどして中の水を完全に排出するようにしましょう。ホースは止め具にかけてテープで固定、アースや電気コードは巻いて洗濯槽に入れておきます。
- 石油ストーブ
中に油を残さないこと。残っている場合はポリ容器に移し替えておきましょう。乾電池も忘れずに外してください。



不用品の処分



荷物が減れば引越し先でも楽になりますし、引越し料金もその分安くなる可能性もありますので引越しが決まったら荷づくりをして引越し先へ持っていくものと、不安定なものを分けて不要なものは処分し、少しでも荷物を減らしましょう。
粗大ごみも早めに手配しましょう。

粗大ごみ処分方法

1. 引越会社
2. 民間の粗大ごみ回収業者に依頼
3. 各自治体に依頼
4. リサイクルショップなどに買い取りしてもらう
5. テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機の4品目は家電リサイクル法にも基づいて小売店などに回収してもらう
6. パソコンは資源有効利用促進法や小型家電リサイクル法に基づいてメーカーや小売店などに回収してもらう

手順5 お引越当日

いよいよ、お引越当日。最後まで忘れ物がないかなど、しっかり確認しましょう。
お引越当日は、引越業者との打ち合わせ、荷物の搬出入の立会い、電気・ガス・水道の閉栓、開栓と清算など・・・やることがたくさんあります。

身のまわりの品を
まとめるのが、
最後の荷作り

最後まで使っていたものが、新居で最初に使うものになり得ます。家族分の食器や着替え、洗面用具などは、ひとつの箱にまとめて入れておきます。翌日から学校や会社に行く場合は、それらの荷物をまとめて荷づくりします。

貴重品はご自身で管理

宝石、貴金属類、有価証券などの貴重品は、お引越荷物の中には入れずにご自身で運ぶのが原則です。
骨董品などご自身では運べない貴重品は、弊社にご相談いただくことが破損などを避けるコツです。

忘れ物がないか、
きちんと確認

今までのお住まいを発つときに、もう一度忘れ物がないか確認します。

押入れ・天袋 表札 郵便受け 風呂場 トイレ 物干し
ベランダ 物置 家のまわり（自転車・エアコン室外機など）

今までのお住まい・
新居での電気・ガス・
水道の立会い

今までのお住まいで

電気のスイッチ・清算 ガスの閉栓・清算 水道の閉栓・清算

新居で

電気のスイッチ ガスの開栓 水道の開栓

引越業者と一緒に、
家具などに
破損がないか確認

引越しの搬入が終わったら、引越業者と一緒に家具などにキズや破損がないか確認しましょう。

お引越は「安全」
「確実」
「迅速」を
モットーとする
アヅマにおまかせください。



手順6 お引越完了

お引越が終わったら、新居でお引越の荷解き・整理をしなくてはなりません。とりあえず、すぐに必要なものから整理していきましょう。そのためには、どこへ何を収納していくのか、しっかり計画しておく必要があります。また、新居の周辺を家族で見て回りどこに何があるかを確認しておきましょう。

荷物の整理は
すぐ使うものから
計画的に

お引越当日はすぐに使うものから整理します。他のものは計画をたて1～2週間ぐらいゆっくと時間をかけて進めていきましょう。荷物リストをお引越前に作成しておけば、よりスムーズかもしれません。

